

(別添2)

【木津川市】
ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合 (%)

既存ネットワーク環境の改善に向けた基礎調査（令和4年9月から令和5年1月にかけて実施）の結果において、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和6年4月）を超える学校数及び割合は以下のとおりである。

必要なネットワーク速度が確保できている学校数 3校

総学校数に占める割合 16.6% (18校中3校)

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

(1) ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

課題の特定ができていないため、ネットワーク速度の確保に向けて、令和10年度までに必要に応じてネットワークアセスメントを行い、さらなるネットワーク速度の向上を進める想定である。

(2) ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

必要に応じて行うネットワークアセスメントの結果によっては、ネットワーク機器の保証期間が終了する令和8年以降に、通信回線の帯域の増強に対応した機器に更新を検討する。改善の完了時期としては、令和10年度までに実施することを想定している。

(3) ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになってい る場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

令和4年度のネットワークアセスメントの結果、回線の通信帯域の不足について課題が見られた。令和5年度に大規模校において、速度向上をめざした新たな通信であるIPoE化を実施したが、現在利用しているネットワーク機器の通信規格による通信帯域の増強に限界があるため、今後必要に応じて行うネットワークアセスメントにより判明した課題によっては、ネットワーク機器の更新後、回線の通信帯域の増強についても実施スケジュールを決定予定である。